

## 館報

## 下栗津

第  
87  
号ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~shimoawa/> 下栗津 検索

## 下栗津町勢

(平成26年11月現在) (25年11月)

世帯数 566世帯 (558世帯)

町民数 2,011名 (2,001名)

男子 958名 (958名)

女子 1,053名 (1,043名)

下栗津町公民館 TEL44-3123

事務局受付時間

月曜日～金曜日 午前9:00～午後1:00

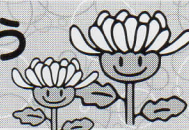
月末土曜日 午前9:00～午後4:00

(題字は町内会長)

11/1  
土曜日11/2  
日曜日

## 公民館まつり

ご来場ありがとうございました



書道ガールズ 綺羅「ありのままで」



津軽三味線 民謡ショー



書道オールズ「植樹祭」



書道ガールズ ひまわり「花火」

11月1日(土)、2日(日)、下栗津会館にて公民館祭りが開催されました。館内には町内の皆様からお寄せいただいた多数の作品が、両日にわたって展示され、日頃の修練の成果をご披露いただきました。

1日の午後からは、子供お楽しみ会が行われました。ここでは映写会とビンゴ大会が行われ、またアイスクリームの振る舞いがあり、子供達は大はしゃぎでした。午後6時30分からはお茶会、午後7時からは「桃山会」による詩吟発表、そして「琴きらら」による大正琴演奏が催され、日本の伝統文化が調和した素敵な時間を過ごしました。

2日はあいにくの雨天となりましたが、多くの皆様にご来場いただきました。(新聞報道によると、延べ千人ほど)

屋外では各種模擬店の他、みなみ診療所のご厚意による無料健康チェック、餅つき、ゲームコーナーが、屋内では飲食コーナーが設けられました。そして11時、舞台発表。「加賀小町太鼓」による太鼓パフォーマンスを皮切りに、かわいらしい園児達のお遊戯、午後から「麗姿クラブ」による太極拳の演武、「琴修会 下栗津教室」による大正琴演奏、「踊りの会」による舞踊へと続き、ゲストコーナーへ。

北一組の石村さん、南組の林さん他による津軽三味線民謡ショーが披露され、その迫力あるパフォーマンスに、聴衆は魅了されました。そしてこの日のスペシャルゲスト、月華書道会3チーム(ひまわり、書道オールズ、綺羅)による書道パフォーマンスが披露されました。音楽に合わせて、大きな用紙に全身を大きく動かして、踊るように文字を書いていくパフォーマンスに、観衆は大きな喝采を浴びせました。

最後には恒例の抽選会が催され、読み上げる度に参加者全員が一喜一憂し、大盛り上がりのフィナーレとなりました。

ご来場いただいた皆様、運営に御協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



# 公民館 まつり

〈屋内催し〉



お茶会



お楽しみ会(子供会)



白嶺幼稚園



詩吟(桃山会)



大正琴(琴きらら)



矢田野保育園



大正琴(琴修会下栗津教室)



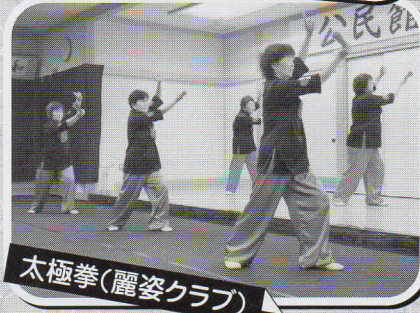
加賀小町太鼓



踊りの会



踊りの会



太極拳(麗姿クラブ)



健康チェック(みなみ診療所)



焼き鳥(壮年会)



餅つき(親和会)



ゲームコーナー(子供会)



さんま塩焼き(明るい町づくり委員会)

〈屋外催し〉

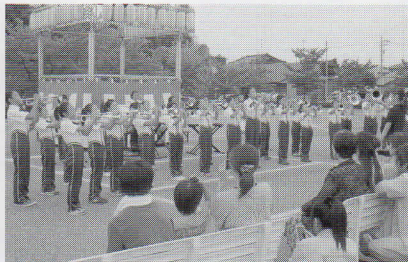


# 夏祭り 夕涼み会

8月2日(土)、夏祭り夕涼み会が下栗津会館前で4年ぶりに開催されました。

当日は踊りの会、ステージドリル、民謡ショーが華麗なパフォーマンスを繰り広げ、盛大な喝采を浴びました。

そしてゲームコーナーや各種模擬店などバラエティに富んだ内容となり、町民は夜遅くまで楽しんでいました。役員の皆様、お疲れ様でした。



# 秋祭り

9月13日(土)、14日(日)にかけて、好天に恵まれた秋空の下、町内最大のイベント、秋祭りが開催されました。

1日目には湯下八幡神社にて、仮装輪踊りが開催されました。まずは景気付けに、加賀小町太鼓の素晴らしい演奏でテンションアップ。その後各組が趣向を凝らした仮装で、輪踊りに突入しました。また各種模擬店、ゲームコーナーの他に、今年初老を迎えられた寅卯絆友会(とらうばんゆうかい)の皆様による、酒やポップコーンの振る舞いもあり、大いに盛り上がりました。輪踊りの後は、獅子舞保存会による迫力ある舞で締めくくられました。

2日目には獅子舞の町内巡回、そして子供神輿の町内巡回が行われました。獅子舞と神輿の笛と太鼓の音、そして掛け声がこの日も好天となった秋空に響き渡りました。

運営に関わった各団体の皆様、本当にご苦労様でした。そしてご協力いただいた町民の皆様、まことにありがとうございました。



西組 町内会長賞



東組 公民館長賞



南二組 神社委員長賞

# 平成二十六年 初老寅卯絆友会

奉納 一、一の鳥居注連縄

一、裏参道鳥居注連縄

堂	喜光	吉本	浩之
上出	邦弘	宇戸	謙治
坂川	忠佳	辻	貴慈
深田	修平	谷口	繁央
谷口	哲也	松山	仁久
内藤	智司	岡山	晃宏
中森	博也	金益	康典
東	世志晴	嶋	辰弥
世川	康彦		



# 奥殿の修理

湯下八幡神社運営委員長 小林 順一

九月に入ったある日、神主の山本氏より「奥殿(御神体が安置されている所)が、かなり傷んでいる。このまま放置できないのでは。」との話がありました。役員一同で建物の周りや床下の隙間から覗いてみると、確かに壁、床の隙間がひどいようでした。奥殿に入り、さらに詳しく内部を調べたいと思いましたが、奇しくもお伊勢さんの大掛かりな遷宮の報道がされた折でもあり、どんな作法で行えばいいのか、橋本宮司に相談をしました。橋本氏の「神が出雲へ行かれています(神無月)に済ませれば」の助言に、十月初めの早朝、町内会長他数名、身を清め、マスク姿で、恐るおそる奥殿の扉を開け、中を調べました。思ったほど埃、汚れは少ないものの、壁、床は建築以来の年月の乾燥で、1cm前後の隙間が生じ、小動物がいつ入ってきてもおかしくない状態でした。

直ちに同行した大工さんに、十月中に修理を終えるよう依頼をし、期間内に無事修理を終えることができました。

後日談ですが、ある方から「御神体を見られたのか」と聞かれましたが、御神体は奥殿に安置されている神棚に納められており、私たちの目に触れることが無かったことと報告しておきます。

神社のお世話をさせていただいて、三年が終わろうとしています。この間、町民の皆様、そして各種団体には何かとご協力をいただきました。神社は町内すべての方に支えられ、守られていると今、実感しております。ありがとうございました。心より御礼申し上げます。



## 矢田野校下駅伝継走大会

11月9日(日)、第44回矢田野校下駅伝継走大会が開催されました。

あいにくの雨天の中、校下6町を5名の選手でタスキをつなぎ、ゴールを目指して力走しました。沿道では選手達に熱い声援が送られていました。

総合順位は5位でしたが、1区、2区で区間賞を取る健闘を見せました。選手・役員の皆様、お疲れ様でした。

## 駅伝メンバー

1区	井家 成基 (区間賞)
2区	新村 銀徳 (区間賞)
3区	大桑 達成
4区	西森 良介
5区	谷敷 英宜



## 今年を振り返って

町内会会長 東 秀昭

今年一年間、町内会の運営をお預かりして、あつと言つ間の一年だったと思つ半面、一つ一つの行事、会合、行政等への対応を思い起こしますと、すぐ長かった一年だったようにも思います。

今年は、年明け以降例年になく積雪の少ない冬でした。また、全国的には、夏の集中豪雨等で甚大な被害が報道されましたが、当町におきましては、例年、梅雨末期を中心に発生する用水の溢れもなく、大きな災害もなく、比較的恵まれた一年でもありました。

おかげさまで、良い天候もさることながら、町民の皆様方の町内会活動の円滑な運営へのご理解とご協力を賜り、各種行事等は、ほぼ計画どおりに進めることができました。誠にありがとうございました。

さて、予算総会において、次の5本柱(方針)について、お話をさせていただきました。

- 一、安心・安全な町づくり
  - 二、防災・減災への備え
  - 三、家庭から出るゴミの問題
  - 四、活気ある明るい調和のとれた町づくり
  - 五、経費節減への取り組み
- です。個々の具体的な内容を列記することはできませんが、年度当初に計画した施策並びに、総会で提案された事柄への対応等は概ね達成できたのではないかと考えています。その達成度合いにつきましては、町民の皆様のご判断に委ねたいと考えています。

なお、これらの方針は、その時々で、その表現や形が変化しても、町内活動の原点として継続されるべきものであり、来年以降も引き続きその取り組みにご理解とご協力をいただきたいと思います。

最後に、町民各位の今後益々のご健勝とご多幸を衷心よりご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 一年を振り返って

公民館長 松山 純一

町内の皆様には日頃より公民館活動にご支援とご協力を頂き厚く御礼を申し上げます。

本年度公民館スタッフの企画力と団結力を結集し、幼児から高齢者まで多くの町民参加を念頭に置いていましたが、各行事とも盛大に実施することが出来ました。

青団と赤団の白熱した優勝争いを演じた町民大運動会、例年の仮装輪踊りを生き甲斐にしているかのように見えた秋祭りでの熱演、会館を使用した日頃の練習成果を示す公民館祭り舞台発表や御茶会と沢山の作品展示。それぞれの行事にドラマがあり、公民館は正に生きていると感じた一年間でした。

校下体育協会・校下公民館行事とも、多くの皆さんの御協力を頂き感謝致します。第四回矢田野校下・文化祭「趣味の作品展」には、腕に自慢の作品を多数展示させて頂きました。新企画「わが町探訪ウォーク」では老人会会員のみなさんの健脚ぶりに敬服しました。少子高齢化が進むなか、趣味と健康を継続・維持しながら生涯現役を目指すには、公民館の果たす役割も益々重要になると思います。

各種団体・各種サークルの皆さんには、それぞれの行事を通じて大変お世話になりました。今後とも活動の場を広げ御活躍されることをお祈り致します。

町内の皆さまには公民館活動へのより一層のご支援とご協力をお願いして結びとします。

一年間、有難うございました。

## 一年を振り返って

公民館主事 浦場 博雅

この一年公民館活動において町民の皆様には大変多くのご協力ご支援を頂き誠にありがとうございました。

今年は年初に皆様にお伝えしたように、年配の方々も参加出来る行事の配慮という事で、校下・ペタンク大会で老人会の方々に参加をして頂きました。また町内会長からの強い要望で、6月町民運動会競技には非防災を取り入れたものをとつことで「防災リレー」を実施しました。どちらも初の試みで不安な面もありましたが、皆様のご協力により無事終えることが出来ました。

3月の校下バレーボール大会は近年稀に見る大接戦での準優勝、6月の校下・ペタンク大会は親和会公民館連合チームで優勝、11月の校下駅伝大会は総合5位ではありましたが第1区・第2区の区間賞獲得と対外競技において素晴らしい成績を収めることが出来ました。

8月には4年ぶりに夏祭り夕涼み会、9月には晴天に恵まれた中での秋祭り仮装輪踊りを、盛大に行うことが出来ました。ただ10月の社会体育大会は初めて?の雨天中止、また11月の公民館祭りにおいても2日目午後の豪雨と、私にとっては忘れられない1年となりました。

来年以降も公民館行事は少しずつ変化をとげながら、より町民の多くの皆様に参加でき、良いコミュニケーションがとれるものになっていくと思えます。私も微力ながら応援していきます。町民の皆様も是非賛同・参画頂くことをお願いし、1年間のお礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました!